

2015 年 11 月 21 日 理事会資料

平成 27 年度「野生生物と社会」学会行政研究部会総会

平成 27 年 11 月 21 日(土)
琉球大学共通教育棟 1 号館 1 階 1-118

議案書

第 1 号議案:平成 26 年度事業報告及び収支決算報告について

報告 1:平成 27 年度事業実施状況報告および収支中間報告について

第 2 号議案:規約の改正について

第 3 号議案:平成 28 年度事業計画および予算について

その他

資料

平成 26 年度事業報告(案)

平成 26 年度収支決算(案)

平成 27 年度事業実施状況

平成 27 年度収支中間報告

規約の改正について

平成 28 年度事業計画(案)

平成 28 年度予算(案)

第1号議案 平成26年度事業報告(案)
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

I 事業計画

1. 部会総会の開催

第20回「野生生物と社会」学会大会にあわせて部会総会を行った

日時: 平成26年11月1日(土)

場所: 犬山市 国際観光センター“フロイデ”

次第: 第1号議案:平成25年度事業報告及び収支決算報告について

報告:平成26年度事業実施状況報告および収支中間報告について

第2号議案:役員の改選について

第3号議案:平成27年度事業計画および予算について

2. 第20回「野生生物と社会」学会・テーマセッションの開催

「野生生物の保全・管理政策の評価～理論と実践～」

日時: 平成26年11月2日(日)

場所: 犬山市 国際観光センター“フロイデ”

3. 研究会の開催

①研究集会「放射能汚染と狩猟」

主催: 行政研究部会

共催: 宇都宮大学 雑草と里山の科学教育研究センター

助成: 富士フィルムグリーンファンド, 科学研究費補助金(課題番号 23530124)

日時: 平成26年7月20日(日)

場所: 宇都宮大学地域連携教育センター

テーマ・講師:

1. 放射能汚染が狩猟者の行動に与えた影響～現役狩猟者と元狩猟者へのアンケート調査～

上田 剛平(兵庫県但馬県民局朝来農林振興事務所)

2. ドイツ・バイエルン州における狩猟獣の放射能汚染への行政対応
高橋 満彦(富山大学人間発達科学部)

3. 原発事故後3年間のイノシシの汚染モニタリングの状況

小寺 祐二(宇都宮大学 雑草と里山の科学教育研究センター)

参加者数:36名

4. 野生生物行政に関する情報源情報の整備

・平成23年度および24年度に実施した「鳥獣行政」「野生生物保護行政」のアーカイブ保存し、ホームページで公開している資料の目次について、引き続きホームページで公開した。

5. 野生生物行政に関する普及啓発手法の研究

6. 野生生物行政に関する情報の発信または提言

7. その他

2014年野生生物10大ニュースの選定・発表を年末に行った。

Ⅱ その他

1. 部会員名簿の管理

部会員・準部会員の入退会を管理し、会員名簿を部会員・準部会員へ配布した。

平成 27 年 3 月 31 日時点の会員数

部会員 99 名 準部会員 73 名

平成 26 度収支決算報告(案)
(会計年度:平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

I 一般会計

(歳入の部)

(単位 円)

項 目	収入	支出	摘 要
1. 学会からの資金	75,000	—	「野生生物と社会」学会から
2. 平成25年度からの繰り越し金	70,324	—	
3. 雑収入	14	—	預金利息
合 計	145,338	—	

(歳出の部)

※予算内訳

1. 事業費	(1)研究会の開催	70,000	30,000	講師謝金(11月2日)
	(2)野生生物行政に関する情報源情報の整備	12,000	—	
	(3)野生生物行政に関する普及啓発手法の研究	12,000	—	
2. 管理費	事務作業手当	20,000	20,000	1名。部会員管理、ML管理、会計管理等
	消耗品費	2,000	—	
	会議費	2,000	—	
	印刷経費	20,000	—	
	通信費	5,000	574	資料郵送代等
	雑費	1,000	—	
3. 予備費		1,324	—	
合 計		145,324	50,574	

繰越金 94,764 円は平成 27 年度に引き継ぎます。

平成 27 年 3 月 31 日

「野生生物と社会」学会行政研究部会
部会長 野崎英吉
総務 横田隆博
佐々木智慧
奥山正樹

報告 1 平成 27 年度事業実施状況
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

I 事業計画

1. 部会総会の開催

第 21 回「野生生物と社会」学会大会にあわせて部会総会を行う。

日時: 平成 27 年 11 月 21 日(土)

場所: 琉球大学共通教育棟 1 号館 1 階 1-118

次第: 第 1 号議案:平成 26 年度事業報告及び収支決算報告について
報告 1:平成 27 年度事業実施状況報告および収支中間報告について
第 2 号議案:規約の改正について

第 3 号議案:平成 28 年度事業計画および予算について

2. 第 21 回「野生生物と社会」学会・テーマセッションの開催

「市民の声から政策提案・法改正を実現させるには一ロビイストは語る」

日時: 平成 27 年 11 月 22 日(日)

場所: 琉球大学共通教育棟 1 号館 1 階 1-118

3. 研究会の開催

①セミナー「(テーマ調整中)」

主催: 行政研究部会

日時: 平成 27 年 1～2 月のうち 1 日

場所: 東京都内(予定)

テーマ・講師:調整中

4. 野生生物行政に関する情報源情報の整備

・平成 23 年度および 24 年度に実施した「鳥獣行政」「野生生物保護行政」のアーカイブ保存し、ホームページで公開している資料の目次について、引き続きホームページで公開する。

5. 野生生物行政に関する普及啓発手法の研究

複数のテーマ案が寄せられており、取り組むべきテーマを検討しているところである。

6. 野生生物行政に関する情報の発信または提言

7. その他

行政研究部会入会のご案内の改定を行った。

2015 年野生生物 10 大ニュースの選定・発表を年末に行う。

II その他

1. 部会員名簿の管理

部会員・準部会員の入退会を管理し、会員名簿を部会員・準部会員へ配布する。

平成 27 年 11 月 13 日時点の会員数

部会員 101 名 準部会員 75 名

平成 27 年度収支中間報告
(会計年度:平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

I 一般会計

(単位 円)

(歳入の部)		2014年度決算時 (2015年3月末)		2015年7月予算組直し※		2015年 11月13日	摘 要
		収入	支出	収入	支出	支出	
1. 学会からの資金		75,000	—	150,000	—	—	「野生生物と社会」学会から
2. 平成26年度からの繰り越し金		94,764	—	94,764	—	—	
3. その他				10	—	—	預金利息
合 計		169,764	—	244,774	—	—	
(歳出の部)							
1. 事業費	(1)研究会の開催	—	100,000	—	125,000	0	資料作成代、会場代、講師交通費等
	(2)野生生物行政に関する情報源情報の整備	—	15,000	—	15,000	0	資料複写代、交通費等
	(3)野生生物行政に関する普及啓発手法の研究	—	5,000	—	5,000	0	交通費等
2. 管理費	事務作業手当	—	15,000	—	15,000	0	1名。部会員管理、ML管理、会計管理等
	消耗品費	—	0	—	2,000	0	文具、用紙等
	会議費	—	2,000	—	50,000	3,200	会場費、茶菓、幹事会交通費 等
	印刷経費	—	20,000	—	20,000	216	チラシ、資料作成等
	通信費	—	10,000	—	10,000	0	資料郵送料等
	雑費	—	1,000	—	1,000	0	送金手数料等
3. 予備費		—	1,764	—	1,764	0	
合 計		—	169,764	—	244,764	3,416	

平成 27 年 11 月 13 日

「野生生物と社会」学会行政研究部会
部会長 野崎英吉
総務 横田隆博
佐々木智慧
奥山正樹

※4 月に行われました学会理事会において、行政研究部会への平成 27 年度の運営費を 150,000 円とすることが決定されたため、今年度予算の内訳を見直しました。

第3号議案 規約（運営規定附則第2条）の改正について

【協議事項】

部会規約では、幹事の人数は15名以内と定めていることから、「16名以上の立候補者があった場合のみ投票を行う」よう規約の改正を提案する。

改正前

幹事の選出は、立候補者を公募し、その中から役員改選の当年度の部会総会において部会員による無記名連記の投票で実施する。ただし、立候補者が15名に満たない場合、投票を行わず立候補者の承認のみを行うものとする。

改正後

幹事の選出は、立候補者を公募し、その中から役員改選の当年度の部会総会において部会員による無記名連記の投票で実施する。ただし、立候補者が16名に満たない場合、投票を行わず立候補者の承認のみを行うものとする。

第4号議案 平成28年度事業計画(案)
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

I 事業計画

1. 部会総会の開催

第22回「野生生物と社会」学会大会にあわせて部会総会を行う。

2. 第22回「野生生物と社会」学会・テーマセッションの開催

第22回「野生生物と社会」学会において行政研究部会が主催するテーマセッションを開催する。

3. 研究会の開催

1回開催する。

4. 野生生物行政に関する情報源情報の整備

平成23年度および24年度に実施した「鳥獣行政」「野生生物保護行政」のアーカイブ保存し、ホームページで公開している資料の目次について、引き続きホームページで公開する。また、今後、閲覧困難な刊行物等について新たにアーカイブ保存し、公開することを検討する。

5. 野生生物行政に関する普及啓発手法の研究

6. 野生生物行政に関する情報の発信または提言

7. その他

2016年野生生物10大ニュースの選定・発表を年末に行う。

II その他

1. 部会員名簿の管理

部会員・準部会員の入退会を管理し、会員名簿を部会員・準部会員へ配布する。

平成 28 年度予算(案)
(会計年度:平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I 一般会計

(単位 円)

(歳入の部)

項 目	収入	支出	摘 要
1. 学会からの資金	150,000	0	「野生生物と社会」学会から ※
合 計	150,000	0	

(歳出の部)

1. 事業費	(1)研究会の開催	—	60,000	資料作成代、会場代、講師交通費等
	(2)野生生物行政に関する情報源情報の整備	—	10,000	資料複写代、交通費等
	(3)野生生物行政に関する普及啓発手法の研究	—	8,000	交通費等
2. 管理費	事務作業手当	—	15,000	1名。部会員管理、ML管理、会計管理等
	消耗品費	—	2,000	文具、用紙等
	会議費	—	50,000	会場費、茶菓等
	印刷経費	—	3,000	チラシ、資料作成等
	通信費	—	1,000	資料郵送代等
	雑費	—	1,000	送金手数料等
3. 予備費		—	0	
合 計		—	150,000	

平成 27 年 11 月 13 日

「野生生物と社会」学会行政研究部会
部会長 野崎英吉
総務 横田隆博
佐々木智慧
奥山正樹